

一般社団法人日本災害看護学会 第 27 回総会 議事録

日時：令和 7 年 9 月 6 日（土）16：50～17：50

場所：国立オリンピック記念青少年総合センターカルチャー棟 大ホール

出席者：66 名（役員を含む）

1. 開会

司会の酒井副理事長の挨拶により、第 27 回総会が開会した。なお総会資料については、QR コードから、各自資料をダウンロードして閲覧する旨、説明された。

2. 理事長挨拶

大野理事長より挨拶があった。

3. 年次大会長挨拶

第 27 回学術集会長の長田年次大会長より挨拶があった。

4. 議長選出

定款 41 条により、長田恵子第 27 回年次大会長が選出された。

5. 議事録署名人選出

定款施行細則第 6 条に基づき、議事録署名人として、藤田さやか氏、小寺直美氏が選出された。

6. 報告（以下、総会資料に基づき報告が行われた）

1) 会員登録の推移（大村理事長）

会員登録数は個人会員 1303 名、学生会員 34 名、組織会員 31 組織で、名誉会員 10 名（うち 4 名は物故会員）、賛助会員 3 組織であることが報告された。

2) 理事会報告（大野理事長）

理事会の活動について大野理事長より 9 回開催されたこと、今年度の新規取り組みとして、(1) 学会誌のオンライン投稿と査読システムの構築、(2) ホームページのリニューアル、(3) 災害看護の倫理審査の開始があり、令和 6 年能登半島地震災害看護プロジェクトを継続して行ったことが報告された。

令和 7 年 6 月に第 27 回年次大会開催に関連して（株）インターグループ（以下 IG）による個人情報流出事案が発生、対応した。

3) 代議員会報告（大野理事長）

昨年は 8 月 30 日に台風の影響で第 26 回年次大会の対面開催を中止したため、定時代議員会はオンラインで実施し、令和 6 年度の事業計画等に関して承認を得た。令和 7 年 6 月 30 日に IG による個人情報流出事案に関して臨時代議員会を開催、9 月 5 日には令和 7 年度定時代議員会を開催し、令和 6 年度事業報告、会計報告・監査報告を行い、令和 7 年度事業

計画案、令和7年度予算案等について承認を得た。

4) 組織委員会報告（齋藤理事）

令和6年度はオンデマンドで組織委員会を実施した。令和7年9月5日（金）には第27回組織委員会を開催し、令和6年度事業を報告、令和7年度活動方針について検討した。

5) (株) インターグループによる個人情報流出事案の報告（大野理事）

6月13日の事案発生から、その後の対応について説明された。理事会では年次大会委託業者対策会議を立ち上げ、対応にあたった。6月30日臨時代議員会を開催、8月14日は代表取締役と理事長で面談も行い、業務委託契約違反あったことを確認した。IGからはダブルチェックを実施するなど、ミスが起こらないよう対応する旨は伝えられていたが、第27回年次大会の抄録集の発送遅れや演題不掲載などその後もミスは続き、大会前日、当日に至っても多数のミスが判明している。これらに関して本会の対応として、IGの業務委託契約の違反内容確認に対応すること、今後の委託業者選定上で注意することとする。

以上の報告について、質問・意見等はなかった。

7. 事業報告（各担当理事）

- ・ 学会誌編集・発行について、総会資料 p.8 に基づき、渡邊聡子理事より報告があった。
 - ・ 組織会員の活動推進について、総会資料 p.8 に基づき、齋藤理事より報告があった。
 - ・ 社会貢献・広報活動について、総会資料 p.8 に基づき、立垣理事より報告があった。
 - ・ ネットワーク活動について、総会資料 p.8 に基づき、佐々木理事より報告があった。
 - ・ 教育活動について、総会資料 p.9 に基づき、酒井副理事長より報告があった。
 - ・ まちの減災ナースについて、総会資料 p.9 に基づき、松岡理事より報告があった。
 - ・ 認証制度について、総会資料 p.10 に基づき、大村理事より報告があった。
 - ・ 国際交流の推進について、総会資料 p.10 に基づき、神原理事より報告があった。
 - ・ 募金活動について、総会資料 p.10 に基づき、渡邊智恵理事より報告があった。
 - ・ 災害看護学術用語について、総会資料 p.10 に基づき、河原理事より報告があった。
 - ・ 若手アカデミーについて、総会資料 p.11 に基づき、神原理事より報告があった。
 - ・ 災害看護倫理検討について、総会資料 p. に基づき、今津理事より報告があった。
 - ・ COI マネジメントについて、総会資料 p.11 に基づき、大村理事より報告があった。
 - ・ 災害看護ケアの質向上について、総会資料 p.11 に基づき、渡邊智恵理事より報告があった。
 - ・ 令和6年能登半島地震災害看護プロジェクトについて、総会資料 p.11 に基づき、酒井副理事長より報告があった。
 - ・ 将来構想プロジェクトとその他について、総会資料 p.11-12 に基づき、大野理事長より報告があった。
 - ・ 学術集会について、総会資料 p.12 に基づき、酒井副理事長より報告があった。
- 長田年次大会長より9月5日1123名の登録があることが説明された。

8. 協議事項

1) 令和6年度会計報告・監査報告（宮前理事、三浦監事）

総会資料 p.13～20 に基づき、宮前理事より令和 6 年度会計報告があった。また、税理士による会計確認報告でも適正に表示されていることが確認され、令和 8 年度より消費税課税事業者となる所見が提示された。

三浦監事より令和 7 年 7 月 23 日に当該年度における事業報告およびその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書およびこれらの附属明細書、財産目録）について検討した結果、適正な執行が行われていることが報告された。

以上の事業報告と令和 6 年度会計報告について、質問・意見等はなかった。

2) 令和 7 年度事業計画について（大野理事長）

総会資料 p.23～26 に基づき、報告された。

3) 令和 7 年度予算について（宮前理事）

総会資料 p.27 に基づき、報告された。

以上の事業計画と令和 7 年度会計報告について、質問・意見等はなかった。

4) 役員選挙結果、新役員体制について（大野理事長）

役員選挙（令和 7 年 2 月）結果および新役員体制が報告された。また、令和 7 年 9 月 5 日開催の定時代議員会において役員が承認され、理事長に増野 園恵氏、副理事長に西上 あゆみ氏が選任されたこと、理事として神原 咲子氏、酒井 彰久氏、松岡 千代氏、三橋 睦子氏、宮前 繁氏、組織会員理事として内木 美恵氏、監事に笥 敦夫氏、山本 あい子氏、推薦理事として今津 陽子氏、加古 まゆみ氏、勝沼 志保里氏、斎藤 正子氏、藤田 さやか氏が承認されたことが報告された。

5) 第 29 回年次大会 大会長について（大野理事長）

内木 美恵氏（日本赤十字看護大学 教授）が選出された旨、報告された。

9. 第 28 回年次大会 会長あいさつ

佐々木 久美子氏（日本赤十字東北大学）より挨拶があった。テーマは『『生きるを支える』ネットワークと地域力の醸成』、会期は 2026 年 10 月 3 日（土）・10 月 4 日（日）、秋田県秋田市で行われる。

10. 閉会のあいさつ

酒井副理事長の挨拶により、第 27 回総会は閉会した。

一般社団法人日本災害看護学会 第 27 回総会 議事録の承認

令和 7 年 9 月 5 日

議 長 長田 恵子 印

議事録署名人 小寺 直美 印

議事録署名人 藤田 さやか 印

印

印

印